

北方町政策審議会 グループ協議 会議要旨

グループ名	グループ 1	出席委員数	5 / 5 名
日 時	平成 27 年 6 月 26 日（金） 19 時 00 分～ 21 時 00 分		
場 所	第 2 会議室		
【協議事項】（テーマ等） 「高齢者の暮らしやすさ、住みやすさについて」			
資料：「グラスつうしん」 昭和 12 年生まれの同級生が、喫茶店グラス（旧 蘭豆）に定期的に月 1 回程度集まり、おしゃべりを楽しんでいる。その話の内容を欠席者に知らせるために「グラスつうしん」を発刊し、配布していることを委員より説明			
資料：「老人福祉計画」、「高齢者保健福祉事業一覧」、「地域福祉の現状について」 高齢化率は、県内平均 26.3%と比較すると北方町 20.3%と低く若い世帯が多いことや、高齢単身（独居）世帯数の割合は、旧本巣郡では 1 番多いことや、将来人口推移から、平成 37 年には高齢化率が 25.4%と 4 人に 1 人が高齢者になることなどを資料に基づいて事務局より説明			
委員意見（順不同） ・若い世帯（生産世帯）を増やす施策は？ 定住奨励金（固定資産税 5 年間無料）を実施している ・町内には産業（働き場所）がないから、働きやすい環境を提供すれば、若い世帯・子育て世帯を増やすことができるのでは？ 今後、条例を整備して企業誘致をする予定ですが、町内には広大な土地がない ・町に魅力がないと特に若い女性や子育て世帯が増えないのではないかと ・バスの乗り継ぎの利便性の向上や本数を増やすとか ・子どもを増やさなければいけないから、年寄りを優遇する施策より、子育て世帯を増やす施策がもっと必要ではないかと ・高齢者向けサービスを無料ではなく一部負担金を取って、それを子育て世帯に回してもらったほうがいいのでは ・福井県では、高齢世帯が子どもに勉強を教えて、子どもの学力向上と高齢者の生きがいと認知症予防になるいい事例があるので、参考にしてみようか			

- ・北方みなみ子ども館で行っている放課後児童クラブに高齢者が補助で入ってはどうか
- ・高齢者が過去の経験から学んだことを子どもへ伝え、次世代に繋げていければ、いい道德教育にもなる
- ・町の発展のためには、企業や手当ではなく、広い視野を持って学校の中身を充実させ、魅力ある学校や教育にしないといけないし、登校拒否も減らない
- ・昔は怖い先生や名物の先生がいて、色々と指導していたが、体罰の問題があり、今では先生もノイローゼなど病気になる先生が増えた
- ・学校は行くものという思いがあり、不登校などはなかった
- ・子どもたちも、様々な情報に溢れているので、しっかりとした道德教育がより一層必要
- ・家庭での問題もあるが、学校では生徒に寄り添う教育や環境づくりが、今求められているのでは
- ・高齢者がいきいきとして、子どもの教育のためになり、親が働きやすい場（環境）を行政が提供すればいい
- ・空き家を活用して、地域の高齢者と子どもの居場所づくりができないか
- ・高齢者と子どもをうまく地域で交流できるといいが、その地域のまとめ役には、民生委員などがちょうどいいと思う
- ・民生委員さんも色々な仕事があって大変だと思う

まとめ

- ・子どもたちに高齢者が寄り添い、勉強や経験などを地域で教える場（空き家や公民館など活用）があれば、地域で支え合って福祉（高齢者支援・子育て支援）を行い「高齢者の生きがい・健康」、「子どもの教育力・道徳心の向上」、「親の子育てと仕事の両立」を目標に掲げて、地域コミュニティを活性化することで、高齢者に限らず、その地域に住んでいるすべての住民にとって「生き生きと、暮らしやすく、住みやすいまち北方」を共に実現できないか

一次回開催予定日ー

7/24（金）19：00～ 第2会議室

※発言順にこだわらず対応する意見については、まとめて下さい。

発言者名は未記入をお願いします。